

冬は凍結による漏水が多発! 水道管もしっかり寒さ対策を

凍結するのはこんな時



どんなときに、凍結に注意したらいいの?

- ◆気温が低く、風が強いとき
- ◆長時間水道を使用しないとき
- ◆氷点下の予報が出たとき
- ◆水道管が屋外に露出している場合



気温が-4℃以下になると凍結しやすくなります。酒田の冬は風が強いので、早めの対策が必要です。



凍結してしまったら...



凍ってしまって、水が出なくなっちゃったけど、どうしたらいいの?

万が一凍結してしまった場合は、蛇口や水道管にタオルなどを巻いて、少しずつゆっくりお湯をかけます。それでも水が出ないときは、酒田市指定給水装置工事業者に修理を依頼してください(有料となります)。



直接熱湯をかけてしまうと、水道管が破裂するおそれがありますので、絶対にやらないでください!

酒田市指定給水装置工事業者については、酒田市広報(令和2年12月16日号)の折込チラシや、ホームページから確認できます。

酒田市指定工事業者一覧 [検索](#)



凍結する前に...水抜き栓で水道管から水をしっかり抜きましょう

水抜き栓が手動式の場合

- ①蛇口から水を出します。
- ②水抜き栓のハンドルを、右に止まるまでしっかりまわします。
- ③蛇口から水が出なくなれば、完了です。
- ④最後に、開けた蛇口をしめてください。



《手動式水抜き栓》

水抜き栓が電動式の場合

- ①蛇口から水を出します。
- ②水抜きパネルの電源が「ON」になっているのを確認します。
- ③「水抜き」のボタンを押します(ランプがついているか確認)。
- ④蛇口から水が出なくなれば完了です。
- ⑤最後に、開けた蛇口をしめてください。



《電動式水抜きパネル》



旅行などで長期に水道を使用しない場合や、寝る前などは、水抜きしましょう!

上下水道料金のお支払い、水道の使用開始・中止、名義変更、受益者負担金、合併処理浄化槽分担金、その他上下水道に関するお問い合わせは...

酒田市上下水道お客さまセンター

TEL.0234-22-1811 FAX.0234-22-3160

お支払い等の
窓口営業時間
《平日》
8:30~17:15

酒田市上下水道広報

みんなの水さかた

2020年冬
第31号

【編集・発行】酒田市上下水道部

酒田市末広町14-14 ☎0234-22-1812



●主な内容

みなさまの暮らしを支える上・下水道

安全安心な水道水でしっかり感染症予防

こまめな手洗い・うがいで、感染症予防

空気が乾燥するこれからの季節、感染症予防には、「手洗い・うがい」が重要です。うがいで喉をうるおして乾燥を防ぎ、手はせっけんをしっかり泡立てて洗い、最低でも15秒程度、流水ですすいでウイルスや雑菌を洗い流しましょう。



水道水でしっかり
感染症予防しているよ!



写真:小鳩保育園のみなさん

みなさまのくらしを支える上・下水道

上下水道は、水道水を作る浄水作業からはじまり、使った水をきれいにして海や川へ戻す、という「水の循環」の一部を担いながら、快適な生活を支えています。今回の特集では、なかなか目にする事のない、日ごろの業務をご紹介します。

上水道事業 安心安全な水をお客さまにお届けする仕事です

浄水場の運転管理

酒田市の主要な水道施設である「小牧浄水場」では、最上川から取水して浄水処理を行い、24時間365日、水道水をつくっています。

また、市内の水道施設を集中監視し、浄水場の運転や配水量の調整などを行っています。

安定的に水道水をお届けするため、定期的に施設点検を行うほか、修繕工事など施設のメンテナンスも行っています。



中央管理室

計器の点検



安全なおいしい水をお届けします!

生物センサー



小牧浄水場では、水質検査のほか、メダカを使って、水道水の原水である最上川の水質が、安全であることを確認しています。

毎日水質検査



検査員を引き受けていただいているお客さまのご家庭で、毎日検査が行われています。

水道管の維持管理

古くなった水道管は、順次、地震に強い水道管に取り替えています。

経年とともに多くなる漏水については、水道工事店との連携により早期発見・早期対応に努めています。このことによって、道路陥没などの事故防止や、貴重な水資源の無駄使いを防いでいます。

漏水探知機による調査



漏水探知機は、道路を掘らずに、地上から漏水を探し出すことが可能です。音聴棒は、給水栓や制水弁などにあてて音を聴き、異常を調べるものです。どちらも、現場での経験が必要とされます。

音聴棒による調査

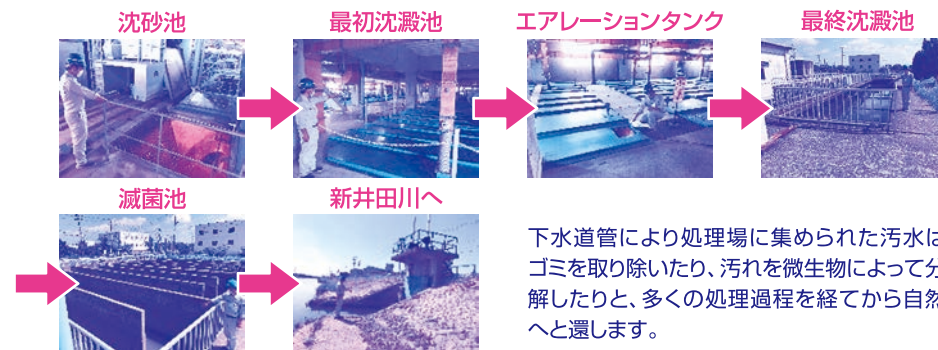


下水道事業 ご家庭などから流れる、汚れた水をきれいにする仕事です

下水処理場の運転管理

下水道の処理場である「酒田市クリーンセンター」には、汚水と雨水を1本の管で流す「合流式」と、汚水と雨水を別々の管で流す「分流式」の2つの処理場があります。

ここでは、酒田市の約半分の人口(約52,000人)の汚水を処理しており、処理水は魚が息できる水質まできれいにしてから、公共用水域へ放流しています。



下水道管により処理場に集められた汚水は、ゴミを取り除いたり、汚れを微生物によって分解したりと、多くの処理過程を経てから自然へと還します。

下水道管の維持管理

下水道管は、家庭から排出される油脂などによる詰まりや、管の破損を原因とした道路陥没を引き起こす場合があります。これらを未然に防ぐため、管内部の点検や調査による適正な維持管理に努めています。



災害対応 ライフラインとしての上下水道の機能を維持できるよう取り組んでいます

自然災害への対策

大規模な地震や、夏季の渇水に伴う最上川への塩水遡上、集中豪雨による浸水など、自然災害は上下水道事業へ大きな影響を及ぼします。水の供給が停止するリスクを減らし、公衆衛生の確保や浸水の防除など、その機能を維持するため、さまざまな対策を講じています。

仮設取水設備の設置
(塩水遡上対策)



排水ポンプの設置
(浸水対策)



耐震管への更新
(地震対策)



応急給水への備え

上下水道部では、3台の給水車を所有し、災害時などの応急給水対応にあっています。

また、市内だけではなく、災害で被災した自治体に対し、応援要請に基づき、給水車と職員を派遣して、支援活動を行ってきました。

給水タンク組み立て訓練



給水車の配備と給水袋の常備

